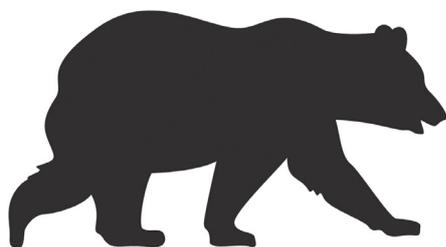
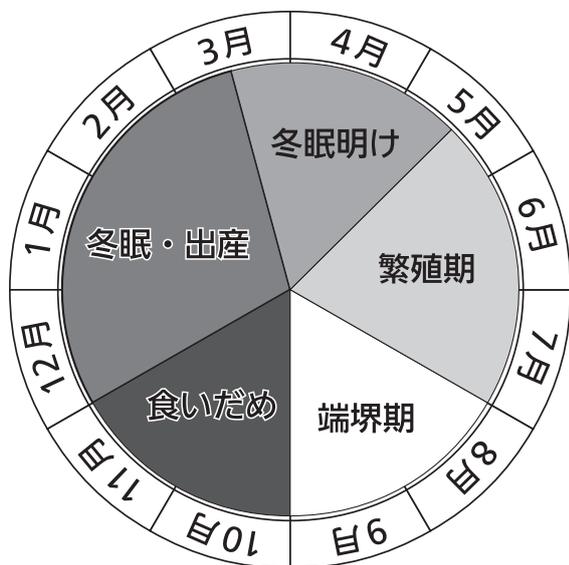


# ヒグマと出会わないために

問合せ  
林業係 ☎32-1842

赤平市内の山にはヒグマが生息しています。  
ヒグマは時に危険な存在となりますが、ヒグマを知ることによって遭遇を避けることができます。

## ヒグマの一年



### ● 3～5月:冬眠明け

冬眠から目を覚ましたヒグマが穴から出てきます。  
オス、子のいないメス、子グマを生んだメスの  
順番で出てくると言われています。

### ● 5～7月:繁殖期

オスはメスを求めて広い範囲を動き回ります。  
この時期は、オスを避けた子連れのメスや、独  
り立ちしたばかりの若いオスが市街地付近に出没  
しやすくなります。

### ● 8～9月:端境期<sup>はぎかい</sup>

山の食べ物が少なくなり、ヒグマによる農作物  
の被害が出やすくなる時期です。

### ● 10月～11月:食いだめ

冬眠に向けて、食べ物をたくさん食べます。

### ● 12月～3月:冬眠、出産

ヒグマは、冬になって食べ物がなくなると冬眠  
します。  
妊娠したメスは冬眠中に出産し、春に穴から出  
てくるまでの間、おっぱいだけで子グマを育てます。

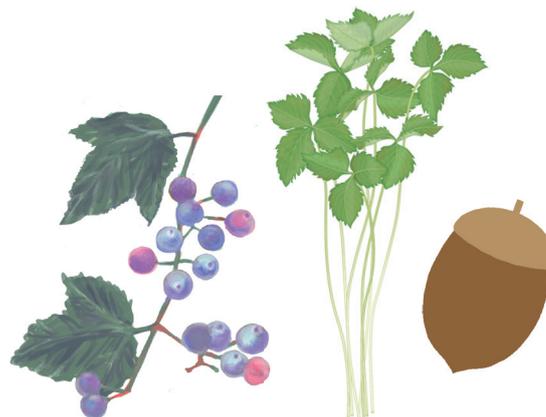
## 食べ物



主にフキやセリ科植物、ドングリなどを食  
べます。  
また、冬を越せずに死んでしまったエゾシ  
カを食べることもあります。



春に引き続き、フキやセリ科植物などを食  
べますが、アリなどの虫や、ヤマグワなどの  
果実を食べることが増えてきます。  
山の食べ物が少なくなり、農作物の被害が  
起こりやすくなります。被害を防ぐため  
には、電気柵を設置するなどの対策が重要です。



木の実を中心に、食べ物をたくさん食べま  
す。  
北海道では、例年、ヒグマの秋の主要な食  
べ物であるドングリ、サルナシ、ヤマブドウ  
の実なりを調査し公表しています。

## それでも出会ったら

**まずは止まる！絶対に走らない！**

ヒグマは逃げるものを追いかける習性があり、時速 60 キロで走ることが可能と言われています。遭遇した時は背を向けず、ヒグマを見ながらゆっくりとその場を離れましょう。

**大声を上げない！石などの物を投げない！**

ヒグマを刺激してしまいます。



**ヒグマの目撃情報を発信しています**

赤平市公式 LINE にてヒグマの出没日時や出没場所を配信していますので、ご活用ください。

LINE 友だち登録は  
こちらから➔



※ヒグマの目撃情報は、赤平市公式ホームページにも掲載しています。

## 「ヒグマと出会わないために」 できることがあります

**ごみのマナーを守る**

- 夜間にごみステーションなどにごみを出さない。
- 外出時のごみは必ず持ち帰る。  
(生ごみの味を覚えると、それを目的に繰り返し出没するようになります。)

**子グマのそばに近寄らない**

親グマは子グマを守るため威嚇突撃してくるので、子グマを見かけても決して近づかないでください。

**草刈りをする**

ヒグマは体を隠せる茂みや川を移動するため、見通しを良くすることにより、ヒグマの通り道にさせない効果があります。

**痕跡を見つけたら引き返す**

ヒグマの足跡やふんは、ヒグマがいたことを示すサインです。痕跡を見つけたらすぐに引き返しましょう。

**音を出す**

クマよけの鈴を身に着ける、声を出すなどにより、ヒグマに人の存在を知らせることができます。ただし、キャンプや釣りなどで川辺にいる時は、川の音でヒグマと人がお互いの存在に気づきにくいので注意が必要です。

## 野生鳥獣と向き合い続けている会を紹介します！

北海道猟友会滝川支部赤平部会は、ヒグマやエゾシカなどの有害鳥獣といわれる動物の駆除だけでなく、自然環境保全も行なっている会です。

同会では、熱意ある部会員を募集しています。部会員の多くは農業や会社に勤務している方で、女性会員も活躍しています。入会には狩猟免許が必要ですが、狩猟免許の有無に関わらず、興味のある方はお気軽にお電話ください。

問合せ 北海道猟友会滝川支部事務局  
(北洋興業株式会社) 支部長 菊島  
☎ 32-3497 (平日 9 時～17 時)

